

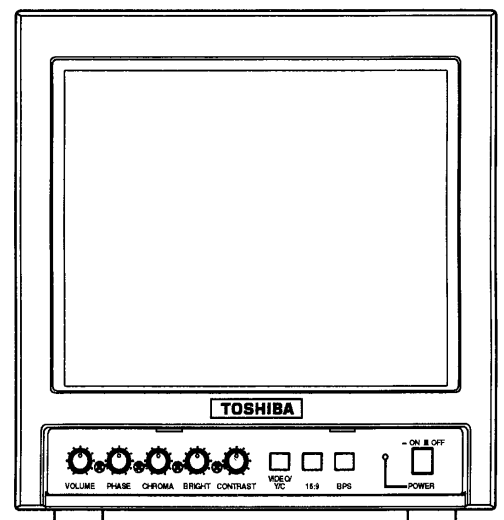
TOSHIBA

取扱説明書

東芝カラーモニター

形名 **P10CS04**

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとは、後日調べたいときのために大切に保存してください。



目次

特長	2
安全上のご注意	3
各部のなまえと働き	6
基本接続例	8
故障と思う前に	9
保証とアフターサービス	10
主な仕様	11

特長

- 映像・音声入力端子装備
ブリッジ接続が可能な映像と音声の入力端子（各入力1系統）です。
- Y/C入力（S入力）端子装備
Y/C分離信号（S映像信号）の入力端子です。
- 焼付低減機能（B P S機能）
映像の白ピークを抑制（カット）し、ブラウン管の画面に画像が焼き付くのを低減します。
- 画面アスペクト比切り換え機能
画面アスペクト比を通常の4：3から16：9に切り換えできます。
- REMOTE（外部制御）端子装備
焼付低減機能（B P S機能）または画面アスペクト比の切り換え機能の操作を外部制御できます。

安全上のご注意

「安全上のご注意」は、モニター全般に共通する内容を記載しています。

「安全上のご注意」の絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵（マーク）が表示されています。

これらは、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。



警告

この絵表示（文字含む）は、そこに書かれていることを無視すると、死亡したり重傷を負うことが想定される内容です。十分注意してください。



注意

この絵表示（文字含む）は、そこに書かれていることを無視すると、傷害を負ったり、物的損害が想定される内容です。十分注意してください。

本文中の絵表示の例



△絵表示は、注意（危険・警告を含む）が必要なことを示しています。図の中に、注意を表す絵（左図は感電注意の例）が描いてあります。



○絵表示は、禁止行為を示しています。図の中や近くに、行為を表す絵（左図は分解禁止の例）が描いてあります。



●絵表示は、実施行為を示しています。図の中に、実施を表す絵（左図は差し込みプラグを抜きの例）が描いてあります。



警告

万一、次のような異常が発生したときは

- 煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。
- 画面が映らない、音が出ないなどの故障のとき。
- モニターの内部に水や物が入ってしまったとき。
- モニターを落としたり、キャビネットが破損したとき。

このようなときは、すぐに電源スイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜いて、（煙などが出ているときは、それがなくなっただけを確認してから）販売店に修理を依頼してください。

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

なお、お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。



転倒防止の処置をしてください

地震など非常時の安全確保と、事故を防止するために、落下や転倒を防止する処置をしてください。詳しくは販売店にご相談ください。

警告

設置するときの警告

●不安定な場所に置かない

ぐらついている台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする原因となります。



●指定の電源電圧(交流100V)以外で使 しない

表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



注意

設置するときの注意

●次のような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- ・湿気やほこりの多いところ
- ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる
- ・熱器具の近く

また、直射日光の当たるところに置くと、キャビネットやブラウン管が変質することがあります。



●移動するときは接続コード類を外す

コードを傷つけますので、差し込みプラグをコンセントから抜き、接続コードなどをはずしてください。コードに傷がつくと、火災・感電の原因となることがあります。

また、モニターは重いので必ず2人以上で持ってください。



●モニターの通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げませんので、火災の原因となることがあります。次のことにご注意ください。

- ・壁や家具などから10cm以上離す
- ・押し入れ、本箱など狭いところに入れない
- ・じゅうたんや布団などの上に置かない
- ・テーブルクロスなどを掛けない
- ・あお向け、横倒し、逆さまにしない



●キャスター付きテレビ・モニター台に乗せる ときは、キャスターを固定する

キャスター止め(受け皿など)で動かないようにしてください。けがの原因となることがあります。



警告

使用するときの警告

●モニター内部に物を入れない

金属や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



●モニターに水をかけない

風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水などの入った容器(花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)は、こぼれたりしますので、モニターの上に置かないでください。また、雨天、降雪中、海岸、水辺での使用中はご注意ください。



●モニターの上に物を置かない

重いものを置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。



●モニターの裏ぶたは外さない

モニター内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。



●モニターを改造しない

火災・感電の原因となります。



●電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを加工したり・無理に曲げたり・ねじったり・引っ張ったり、電源コードを熱器具に近づけたりしないでください。火災・感電の原因となります。

電源コードが切れたり、芯線が出たりしたときは、販売店に電源コードの交換を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



●雷が鳴り出したら、差し込みプラグに触れない
感電の原因となります。



●差し込みプラグの刃や刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、差し込みプラグを抜き、ほこりを取る
差し込みプラグの絶縁低下により、火災の原因となることがあります。



⚠注意

使用するときの注意

●モニターに乗らない

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



●長期間モニターを使用しないときは、差し込みプラグを抜く

安全のため差し込みプラグをコンセントから抜いてください。



●お手入れをするときは電源コードを抜く

安全のため差し込みプラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となります。



●電源コードは差し込みプラグを持って抜く
電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。また、濡れた手で差し込みプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



●5年に一度はモニター内部の掃除を販売店に依頼する

モニターの内部にホコリがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。



この商品は業務用として特別に設計されたものです。専門知識を持ったかたが操作してください。

お手入れのしかた

●キャビネットやブラウン管面の汚れは

柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

●キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。

- ・シンナーやベンジンでふかない
- ・殺虫剤など揮発性のものをかけない
- ・ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない

ブラウン管の焼き付きについて

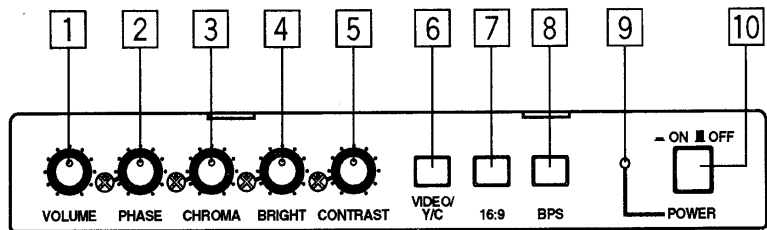
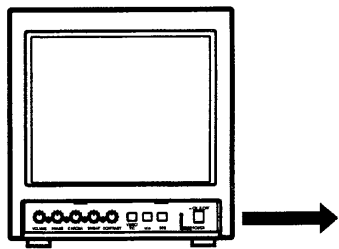
●同じ静止画像を長時間映したり、異常に明るい画像は映さないでください。

ブラウン管に画像が焼き付くことがあります。通常のビデオ再生映像などでは問題ありません。

各部のなまえと働き

前面

<前面操作部>



- 1 **VOLUME (音量) つまみ**
音量を調整します。
- 2 **PHASE (色相) つまみ**
画像の色あいを調整します。
- 3 **CHROMA (彩度) つまみ**
画像の色の濃さを調整します。
- 4 **BRIGHT (輝度) つまみ**
画像の明るさを調整します。
- 5 **CONTRAST (コントラスト) つまみ**
画像のコントラストを調整します。
- 6 **VIDEO/Y/C ボタン**
背面端子に入力した映像信号(VIDEO↔Y/C)を選びます。
- 7 **16:9 ボタン**
画面に映すアスペクト比(4:3↔16:9)を選びます。

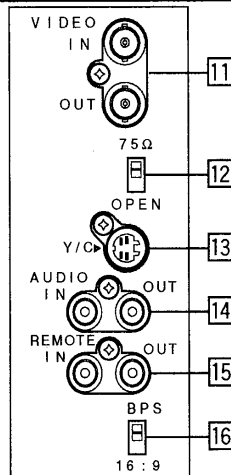
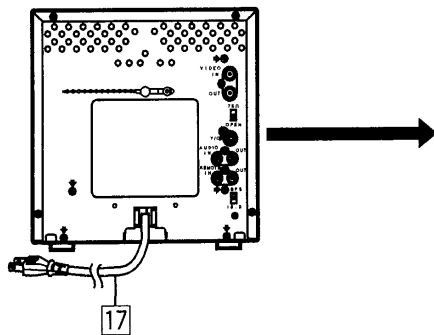
- 8 **BPS ボタン**
BPS機能*の働きを入/切します。
* BPS (Brightness Peak Suppressor) 機能:
映像の白ピーク部分を抑制(カット)し、画面(ブラウン管)に画像が焼き付くのを低減する機能です。
- 9 **POWER (電源) ランプ**
電源が入っているとき点灯(緑色)します。
- 10 **POWER (電源) ボタン**
電源を入/切(ON↔OFF)します。

お知らせ

・ BPS機能を働かせたときは、抑制された白ピーク部分の映像がにじんだようになります。映像の内容により、気になるときはBPS機能を切にしてください。

背面

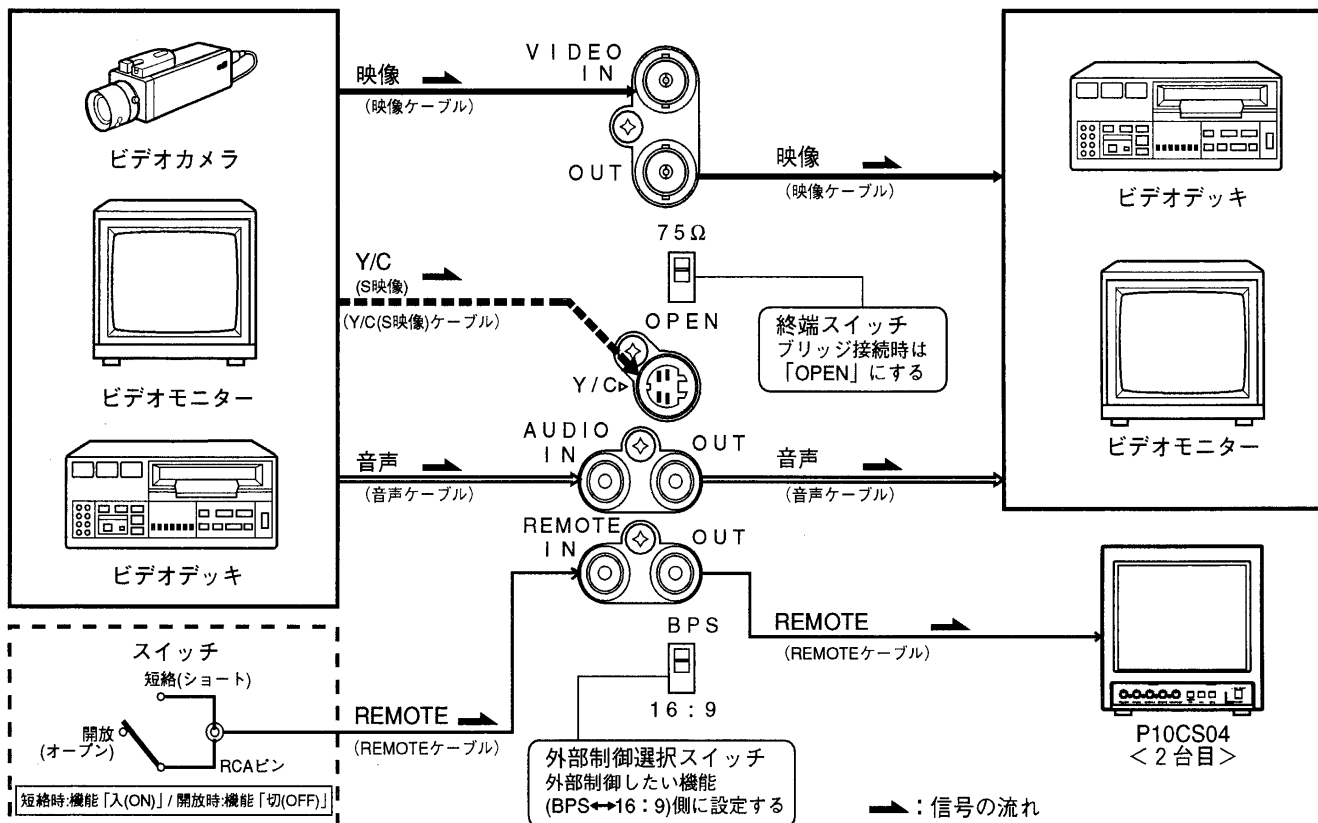
<背面端子部>



- 11 **VIDEO端子**
映像信号の入力端子(VIDEO IN)と出力端子(VIDEO OUT)です。出力端子は、ブリッジ出力です。
- お知らせ**
・ VIDEO端子の接続により、終端スイッチ(12)の位置をご確認ください。
- 12 **終端スイッチ**
ブリッジ接続をするときは、「OPEN」側にします。それ以外のときは、「75Ω」側にします。
- 13 **Y/C端子**
Y/C(S映像)信号の入力端子です。
- お知らせ**
・ Y/C(S映像)信号の出力端子は、ありません。
- 14 **AUDIO端子**
音声信号の入力端子(AUDIO IN)と出力端子(AUDIO OUT)です。出力端子は、ブリッジ出力です。

- 15 **REMOTE端子**
外部制御信号の入力端子(REMOTE IN)と出力端子(REMOTE OUT)です。出力端子は、ブリッジ出力です。
- お知らせ**
・ 16:9ボタンまたはBPSボタンのどちらかの機能を外部制御できます。外部制御選択スイッチ(16)で制御する機能を選んでください。
- 16 **外部制御選択スイッチ**
REMOTE端子を使って、外部制御する機能(BPS↔16:9)を選びます。
BPSボタンの機能を外部制御するときは、「BPS」側にします。
16:9ボタンの機能を外部制御するときは、「16:9」側にします。
- 17 **電源コード**
差し込みプラグをコンセント(交流100V)に差し込みます。

基本接続例



お願い!

- 接続するときは各機器の電源を切ってください。
- 接続例を示したものです。機器によって端子の接続方法が異なる場合がありますので、接続する機器の説明書もあわせてお読みください。
- ブリッジ接続（共通接続）を行なうときは、それぞれ別のビデオ機器につないでください。
例えば、同じビデオデッキの入力端子につないだときは、ビデオデッキの再生中を除き、発振現象が起きます。これは、機器間を同じ信号が回るために起こる現象で故障ではありません。

お知らせ

- Y/C（S映像）端子は入力だけです（ブリッジ出力はできません）。
- 各接続機器、接続ケーブルは別売です。

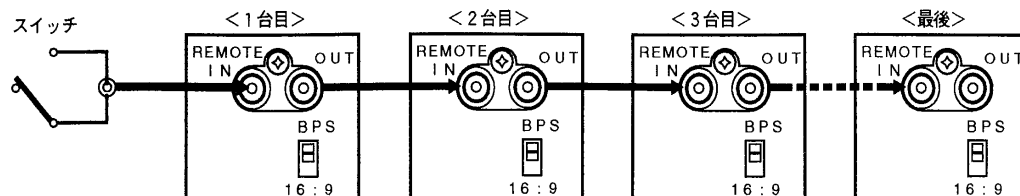
REMOTE（外部制御）端子について

16：9ボタンまたはBPSボタンの機能（操作）を外部のスイッチ（市販）で制御することができます。

1. 接続はREMOTE端子の入力端子 (REMOTE IN) に市販のスイッチを接続します。
2. 外部制御選択スイッチを制御したい機能 (BPS↔16：9) に合わせます。
3. 外部制御選択スイッチで選んだ機能 (16：9またはBPS) の前面操作部のボタンを「切(■OFF)」にします。

■連結接続

REMOTE端子の出力端子(REMOTE OUT)はブリッジ出力で、図のように連結接続し、同時に制御することができます。



お願い!

- 外部制御選択スイッチを合わせたほうの前面操作部のボタン(16：9またはBPS)は「切(■OFF)」にしてください。「入(■ON)」になっていると接続した市販のスイッチで制御することはできません。

お知らせ

- 連結接続したときは、モニターごとに16：9またはBPSのどちらかの機能に設定できます。設定はモニターごとの外部制御選択スイッチで合わせます。

操作のしかた

基本操作

1 POWER (電源) ボタンを押して、電源を入れます

- ON (入) : 電源が入ります (POWER (電源) ランプが点灯します)
- OFF (切) : 電源が切れます (POWER (電源) ランプが消えます)

2 VIDEO/Y/Cボタンを押して、入力を選びます

- 背面端子に入力した映像信号(VIDEO↔Y/C)を選びます。
- ON (入) : Y/C (Y/C端子に入力した映像画面になります)
 - OFF (切) : VIDEO (VIDEO端子に入力した信号の映像画面になります)

3 VOLUME (音量) つまみで、音量を調整します

- 右に回す : 内蔵スピーカーの音量が大きくなります
左に回す : 内蔵スピーカーの音量が小さくなります

画面アスペクト比の切り換えかた

1 16:9ボタンを押して、画面アスペクト比(4:3↔16:9)を選びます

- ON (入) : 画面アスペクト比が16:9になります
- OFF (切) : 画面アスペクト比が通常の4:3になります

お知らせ

- ・画面アスペクト比16:9は、縦が縮んだ映像になります。

BPSボタンの使いかた

1 BPSボタンを押して、BPS機能*の入/切を選びます

- ON (入) : BPS機能*が入ります (働きます)
- OFF (切) : BPS機能*が切れます

お知らせ

- ・BPS機能*を働かせたときの映像は、抑制された映像の白ピーク部分(例えば、蛍光灯などの照明部分)がにじんだようになります。映像内容により、気になるときはBPS機能*を切りにして、お使いください。

- *BPS (Brightness Peak Suppressor) 機能 :
映像の白ピーク部分を抑制(カット)し、画面(ブラウン管)に画像が焼き付くのを低減する機能です。

画像調整のしかた

- CONTRAST (コントラスト) つまみ
画像のコントラストを調整します。

弱くなる  強くなる

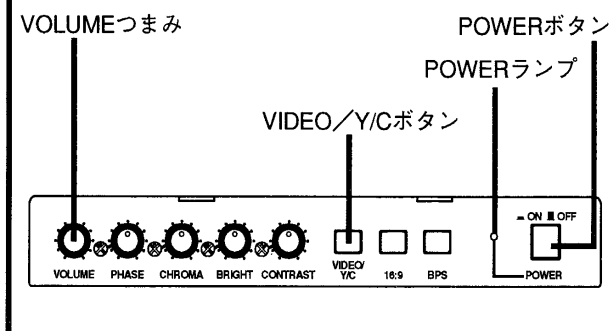
CONTRAST

- BRIGHT (輝度) つまみ
画像の明るさを調整します。

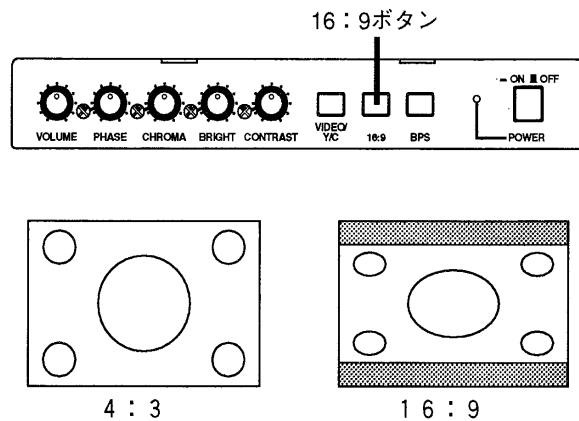
暗くなる  明るくなる

BRIGHT

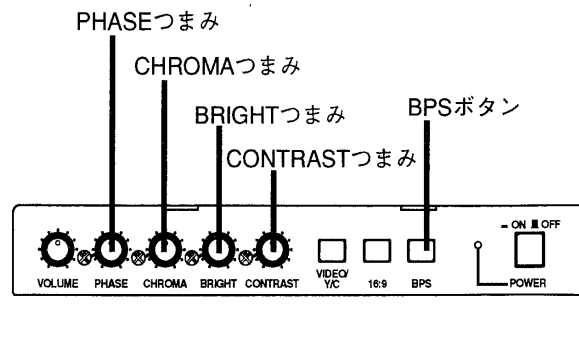
<基本操作>



<画面アスペクト比の切り換えかた>



<BPSボタンの使いかた/画像調整のしかた>



- CHROMA (彩度) つまみ
画像の色の濃さを調整します。

色が淡くなる  色が濃くなる

CHROMA

- PHASE (色相) つまみ
画像の色あいを調整します。

赤っぽくなる  緑っぽくなる

PHASE

故障と思う前に

修理をご依頼される前に、次の点をお調べください。

症状	ここを確認してください	対処方法
電源が入らない	差し込みプラグがゆるんだり、はずれたりしていませんか。	電源コンセントにプラグを確実に差し込んでください。
電源が入っているのに映像がでない	接続機器から、信号が出ていますか。	接続機器を正しく設定してください。
	入力の切り換えは正しいですか。	VIDEO/Y/Cボタンで入力を切り換えてみてください。(6、8ページ参照)
	映像ケーブルがはずれていませんか。	映像ケーブルを確実に接続してください。(7ページ参照)
音が出ない	接続機器から、信号が出ていますか。	接続機器を正しく設定してください。
	音量が最小になっていませんか。	VOLUME (音量) つまみで音量を調整してみてください。(6、8ページ参照)
	音声ケーブルがはずれていませんか。	音声ケーブルを確実に接続してください。(7ページ参照)
映像が揺れる	近くにモータ、変圧器等強い磁界を発生するものがありますか。	映像が揺れなくなるまで、離してください。
映像が明るすぎて見づらい	終端スイッチの切り換えは正しいですか。	終端スイッチを正しく設定してください。(6、7ページ参照)
色がつかない、色がおかしい、映像が暗い	画像調整 (CONTRAST、BRIGHT、CHROMA、PHASE) が変わっていませんか。	画像調整の各つまみを標準 (センター) にしてみてください。(6、8ページ参照)
映像の一部が、色むらになったり色ズレしている	近くにスピーカーや、磁石等がありませんか。また、近づけませんでしたか。	スピーカーや磁界等を遠ざけてから一度電源を切り、30分以上経過後、再度電源を入れ直してください。
映像の白ピーク部分 (例えば、蛍光灯などの照明部分) が暗く、不鮮明で、そのまわりがにじんでいる	BPS機能を「入 (■ON)」にしていますか。	BPSボタンを押して、設定を「切 (■OFF)」にしてください。(6、8ページ参照) BPSボタンを押しても、設定が変わらないときは、外部制御していることが考えられますので、外部制御でBPS機能を切り換えてください。(7ページ参照)
画面の上下が黒く、映っている映像が縦に縮んでいる	画面アスペクト比を「16:9 (■ON)」にしていますか。	16:9ボタンを押して、通常の「4:3 (■OFF)」にしてください。(6、8ページ参照) 16:9ボタンを切り換えても、変わらないときは外部制御していることが考えられますので、外部制御で通常の4:3に切り換えてください。(7ページ参照)

このようなときは故障ではありません

- 画面に白い服などの明るい画像が静止しているとき、その部分に色が付くことがあります。これはブラウン管の構造によるもので、明るい画像がなくなれば消えます。
- ブラウン管に手を触れると弱い電気を感じるがありますが、これはブラウン管が静電気を帯びているためで、人体に影響はありません。
- 部屋の温度変化により、モニターから「ミシッ」という音がすることがあります。画面に異常がなければ心配はありません。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書 (別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

カラーモニターの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙の「サービス一覧表」をご覧のうえお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

修理をご依頼になる前に9ページの「故障と思う前に」にしたがって確認をしてください。それでも不具合や異常があるときは、電源を切り、差し込みプラグを抜いてからお買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

■ご連絡していただきたい内容

品名	カラーモニター
形名	P10CS04
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせて
お名前	
電話番号	() -
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げの販売店 () -
------	-----------------

愛情点検

●長年ご使用のモニター・テレビの点検をぜひ!

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような
症状は
ありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。



ご使用を
中 止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから差し込みプラグをはずして必ず販売店にご相談下さい。

■主な仕様

- 種類 類：カラーモニター
- カラー方式：NTSC方式
- 使用電源：交流100V, 50Hz/60Hz共用
- 消費電力：40W
- 画面寸法：10型(幅17.3cm、高さ13.6cm)
- 音声出力：1W
- スピーカー：8cm 丸型 x 1
- 入力端子
 - 映像：1系統、BNCコネクター x 2
1Vp-p、75Ω、終端スイッチ付
ブリッジ接続（共通接続）可
 - 音声：1系統（モノラル）、RCAピン x 2
0.5Vrms, ハイインピーダンス
ブリッジ接続（共通接続）可
 - Y / C：1系統、Y/C 4ピン（S映像）コネクター x 1
Y入力：1Vp-p、75Ω
C入力：0.286Vp-p、75Ω
- 外形寸法：横幅 22.2 cm x 高さ 22.7 cm x 奥行 31.7 cm
- 質量 量：6.9 kg

※ このモニターを使用できるのは日本国内のみで、外国ではカラー方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

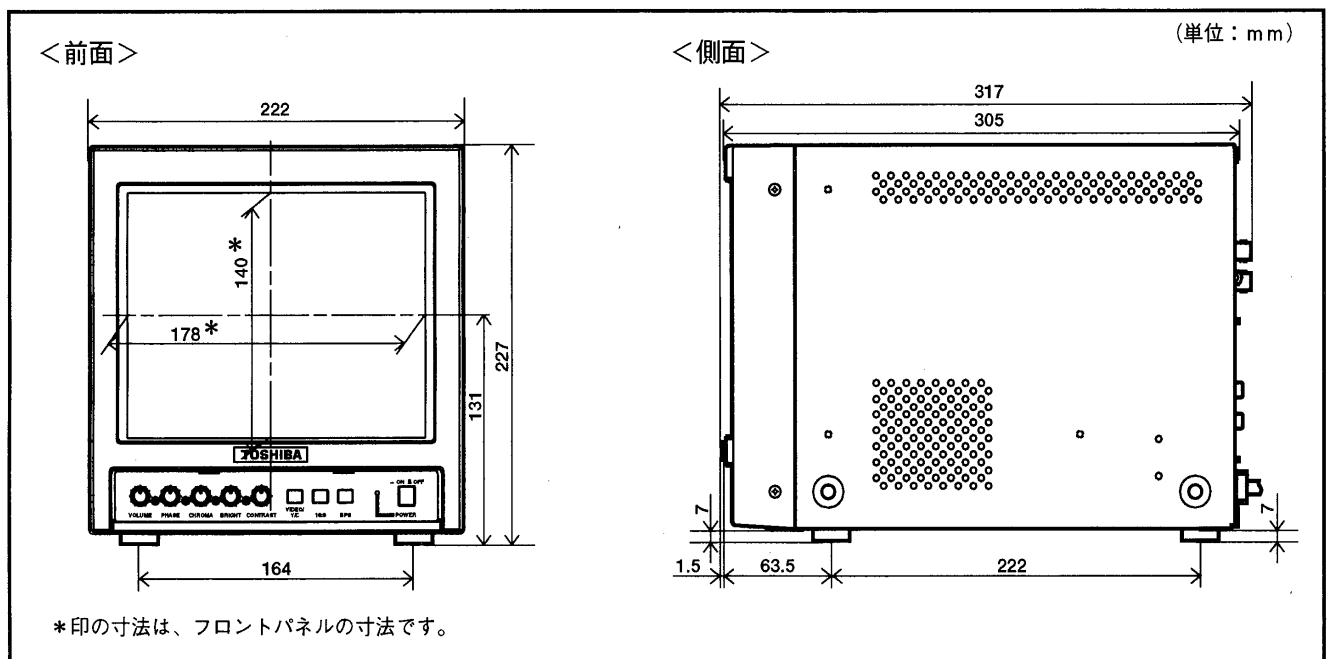
This monitor set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

※ モニターの型(10型等)は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。

※ 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張、省略、合成をしていますので、実物とは多少異なる場合があります。

※ 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

■外形寸法図



株式会社 **東芝**

映像情報システム事業部

〒105 東京都港区芝浦1丁目2番1号

電話 東京 (03) 5484-5173

*住所、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。